



若宮のうさぎも
春の光をあびて
お花見をしている事でしょう

4

2002

No.576

SHOGAWA PUBLIC RELATIONS



広報
しょうがわ

ホームページアドレス <http://www1.tst.ne.jp/shogawa/>
Eメール shogawa@p1.tst.ne.jp

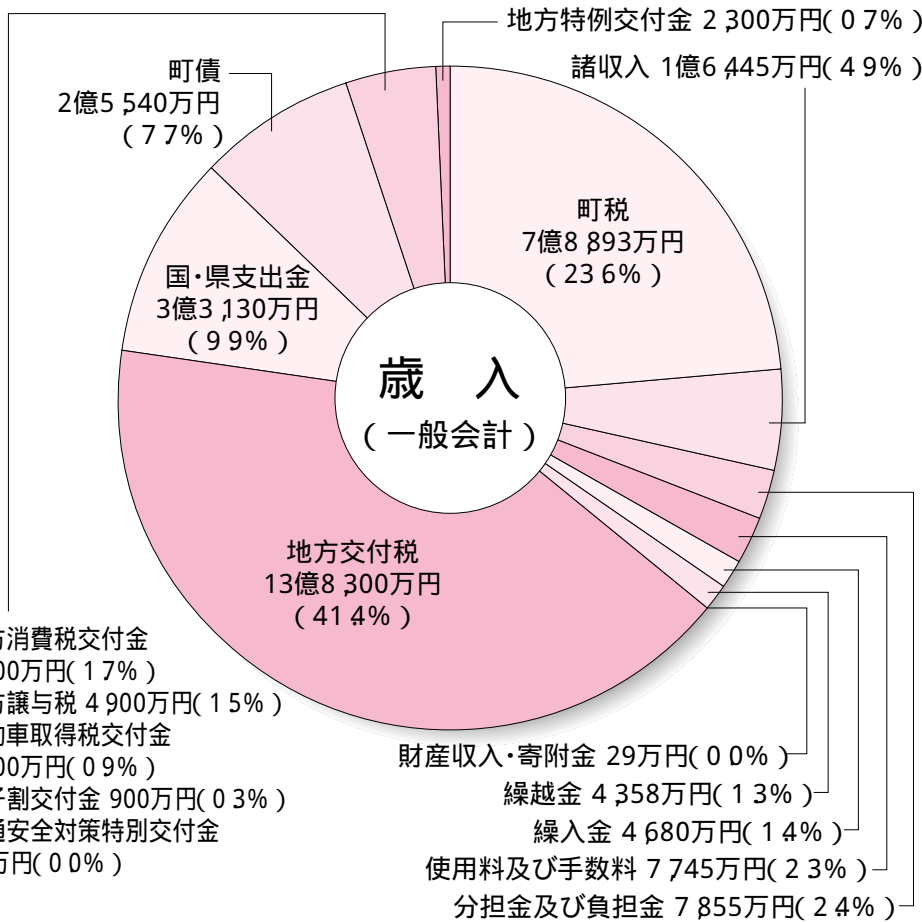
やる気です

50th
SHOGAWA
町制施行

平成14年度予算の概要

全会計の予算総額は、57億4,604万円(前年度と比較して10・5%減)となり、このうち一般会計は、33億3,900万円(前年度と比較して13・5%の大幅な減となりました)。この主な要因は、大型事業であった雄神体育館

の建設事業が完了したことや、種子消毒施設の補助金減などによるものです。今年度は、町制施行50周年を迎える節目の年でもあり、町民皆さんの心に残る事業を予定しています。



会計区分	予算額	伸率(%)	
一般会計	33億3,900万円	13.5	
特別会計	国民健康保険事業	5億6,030万円	6.0
	老人保健医療事業	7億9,008万円	9.1
	土地取得事業	1億6,000万円	41.6
	下水道事業	5億 66万円	26.9
	簡易水道事業	729万円	4.0
	水道事業	3億8,871万円	93.2
	計	24億 704万円	6.1
合計	57億4,604万円	10.5	

〔 歳出予算内訳 〕

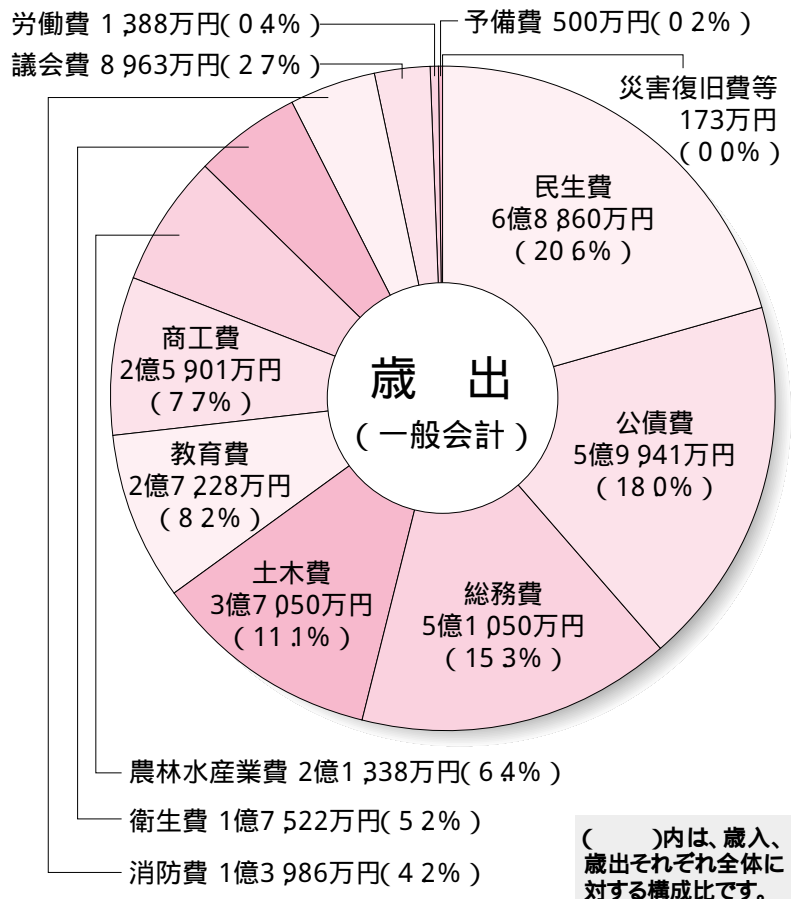
33億3 900万円







(町民1人当たり458 780円)

庄川町の

<p>議会費</p>  <p>町民1人当たり 12,315円</p>	<p>総務費</p>  <p>町民1人当たり 70,143円</p>
<p>民生費</p>  <p>町民1人当たり 94,614円</p>	<p>衛生費</p>  <p>町民1人当たり 24,075円</p>
<p>労働費</p>  <p>町民1人当たり 1,908円</p>	<p>農林水産業費</p>  <p>町民1人当たり 29,319円</p>
<p>商工費</p>  <p>町民1人当たり 35,588円</p>	<p>土木費</p>  <p>町民1人当たり 50,907円</p>
<p>消防費</p>  <p>町民1人当たり 19,217円</p>	<p>教育費</p>  <p>町民1人当たり 37,411円</p>
<p>災害復旧費</p>  <p>町民1人当たり 237円</p>	<p>公債費(借金の返済)</p>  <p>町民1人当たり 82,359円</p>

人口は7,278人(H14.3.1現在)



<p>町債現在高 (平成13年度末見込) 町民1人当たり 646,585円</p>  <p>(特別会計・債務負担行為額を含めると1,182,854円)</p> <p>人口7,278人(H14.3.1現在)</p>	<p>保育所費</p>  <p>園児1人当たり 970,564円</p> <p>園児280人(H14.3.1現在)</p>	<p>小学校費</p>  <p>児童1人当たり 132,489円</p> <p>児童356人(H14.3.1現在)</p>
<p>中学校費</p>  <p>生徒1人当たり 196,032円</p> <p>生徒数220人(H14.3.1現在)</p>	<p>国民健康保険事業</p>  <p>加入者1人当たり 233,946円</p> <p>2,395人(H14.2.1現在)</p>	<p>老人保健医療事業</p>  <p>加入者1人当たり 590,934円</p> <p>1,337人(H14.2.1現在)</p>

この一年間の主な事業を紹介します



町制施行50周年記念事業(6,186万円)

町の姿を将来に伝え残す事業

「庄川町史」続巻編さん事業(10月)
「庄川町史 続巻」として1,000冊を発行します。

「写真で綴る50年のあゆみ」の発行(6月)

庄川町の50年間の動きを2,500冊発行します。

「ふるさと庄川百景写真集」の発行(6月)

これまでの庄川百景51選に新たに49選追加し、写真集1,000冊を発行します。

この他、50年のあゆみのビデオ制作や「庄川の情景を詠む短歌」の第2回から5回までの一般の部・庄川大賞を、歌碑として残します。

「もみじ」の植栽
(4月29日(祝)開催)
緑の羽根募金で水記念公園に「もみじ」の植栽をします。

町民の心に残る事業

町制施行50周年記念式典
(6月1日(土)開催)
式典の中で自治功労表彰や、またタレントの清水國明さんの講演会を開催します。

ダックレースIN庄川の開催
(10月13日(日)開催)

ゴム製のアヒルを庄川で流し順位を競うレースを実施します。



庄川あゆまつりの開催
(7月20日(土)・21日(日)開催)
鮎のつかみどりや塩焼き、花火大会やシンセサイザーなど音と光のイベントも実施します。



この他、「祝50年」の人文字や、金屋石を素材としたモニュメントを製作します。また庄川小学校と鶴川小学校とは、児童の作品や農産物の交流も行います。

町制施行50周年広報PR活動

地域イベントコミュニティー番組制作事業(10月)
地域だより番組を制作し、TST 2チャンネルで放送を始めます。

エコーはがきの作成(6月)
まちの風景をエコーはがきにし全国にPRします。

この他「祝町制施行50周年」懸垂幕、横断幕を町内に掲げPRします。

その他の事業

宅地取得奨励金制度(1年間)
町が分譲する宅地について1区画につき200万円の宅地取得奨励金を交付します。

リバーサイドスポーツ(夏開催予定)
川下り、カヤック、ウォークラリー、サイクリング、パットゴルフなどを実施します。

みんなの体操会(9月15日(日)開催)
NHKの巡回ラジオ体操を開催します。

この他、庄川美術館で「庄川町を描く絵画展」や「落語会」などを開催します。

美しい環境のまちづくり

・ほたるの里づくり事業費	123万円	・ごみステーション改修等補助金	10万円
・環境モニター設置費	38万円	・ポイ捨て防止啓発費	25万円
監視日数を増やし、不法投棄などの抑制やポイ捨て防止の啓発に努めます。			
・愛犬マナーアップ推進事業補助金	13万円		



市町村合併の推進

- ・市町村合併推進費 205万円
これからの町づくりや地域づくりを皆さんと話し合うための啓蒙用ビデオの作成や、講演会を開催します。



情報通信の推進

- ・住民基本台帳ネットワークシステム推進費 429万円
平成15年8月から住民票の広域交付などが開始され、住民基本台帳カードを持っていれば、全国どこの役所でも住民票の交付を受けることができますようになります。

少子化・高齢化対策

- ・定住促進奨励金交付事業費 2,341万円
- ・地域安全推進員設置費 127万円
児童の安全対策を推進し、犯罪の未然防止や道路施設の安全確保に努めます。
- ・福祉バス運行管理費 735万円
今まで以上にきめ細かく巡回し、デイホームへの外出や買い物などの利便性を図ります。
- ・緊急通報体制等整備事業費 94万円
室内に設置したセンサーにより、常時生活リズムを監視するほか、緊急時のボタンによる監視通報システムを整備します。
- ・生きがい活動支援通所事業費 270万円
デイホームや、やまぶき荘で日常動作訓練や趣味活動事業を実施します。
- ・シルバー人材センター設置費補助金 400万円
- ・東山見保育所改修事業費 4,750万円

- ・ファミリーサポート事業費 30万円
育児負担の軽減を図るため、育児援助を受けたい方と協力者との仲介斡旋を行い、安心して子育てができるように支援します。また、保育所に3人以上同時入所している場合は、3人目の保育料を10分の1に軽減します。
- ・インフルエンザ予防接種事業費 348万円



そ の 他

- | | | | |
|--------------------|---------|--------------------|-----------|
| ・地籍調査事業費 | 640万円 | ・都市計画基礎調査業務費 | 290万円 |
| ・C型肝炎総合対策事業費 | 165万円 | ・閑乗寺パーベキューハウス設置工事費 | 420万円 |
| ・農業機械格納庫整備補助金 | 1,500万円 | ・女性消防団員設置費 | 64万円 |
| ・二万石用水沿い水辺環境等整備工事費 | 5,200万円 | ・防火水槽設置等工事費 | 933万円 |
| ・アユ増殖施設建設事業補助金 | 300万円 | ・スクールバス購入費 | 600万円 |
| ・特産館アーケード設置工事費等 | 500万円 | ・14歳の挑戦事業費 | 30万円 |
| | | ・民芸館管理運営費 | 855万円 |
| | | ・ふれあいプラザ展示設備設置費 | 629万円 |
| | | ・宅地分譲事業費 | 3,425万円 |
| | | ・公共下水道建設事業費 | 2億 706万円 |
| | | ・農村下水道建設事業費 | 4,763万円 |
| | | ・金屋配水池築造等工事費 | 2億3,300万円 |



議会だより

3月議会定例会

日曜議会開催

議員定数削減

庄川町議会定例会(第1回)が3月8日から8日間の日程で開催され、初日の8日は、議案21件を一括上程し、町長より町政報告、議案に対する提案理由の説明を行ったあと、議案を各委員会へ付託しました。

続いて、庄川町議会議員の定数条例の一部改正についての議員提出議案が追加提案され、記名投票により賛成多数で可決されました。これにより、議員定数は次の一般選挙より14名から10名となります。

今回、新たな取り組みとして開かれた議会を目指し、また、より多くの町民の皆さんに町政に関心をもっていただくため、2日目の3月10日に日曜議会を開催し、一般質問を行いました。議場のほか、福祉センターに大型スクリーンも設置し、約80名の方が傍聴されました。

また、11日には建設委員会、12日には総務委員会が開催され、付託議案を慎重審議し、最終日15日本会議において、各委員長報告が行われました。付託された議案は原案どおり可決されました。

した。

また、砺波地区老人福祉施設組合議会議員の選挙についてほか2案件が追加上程され、いずれも当選・適任・可決となりました。

本会期中に提案された議案については、別記のとおりです。

一般質問

質問 庄嵐会代表

藤井 稔議員

答弁 藤森町長

質 市町村合併について今後の進め方について

答 新年度においても選任職員の出前講座を行い、各地区に啓発用懸垂幕を設置し、自治振興会とも協議するなかで適宜合併の資料提供や説明会を開催していきたい。

平成の大合併は地方分権の推進という大きな地方自治の根本を問うものであり、将来のために新しい町づくりをすることこそ、大事なことを考えている。このような町づくりを目指すには、一刻も早く「合併協議会」を立ち上げ早急に建設計画を策定し、その計画を町民に示すべきであると考えている。

合併の規模について

答 砺波地域の合併規模について、砺波広域圏10市町村に加えて、小矢部市及び福岡町を含めた15万人規模の合併をすべきであると考えている。

質 健康センターの建設について

保健・福祉を一体化させた施設の建設について

答 これからの健康センターは、障害者や高齢者に配慮した保健、福祉、医療及び介護が一体となったきめの細やかな総合的な少子高齢化施策を実現できるような施設が必要であり、現在健康センターの基本設計を行い、利用者の使い勝手や施設の機能面等の多方面から検討をしているところである。

ただ、依然として、国・県の財政事情は大変厳しく、現在も財源手当の見通しがつかない状況であるが、できるだけ早い時期に整備すべきものと認識している。

質 室内プールの建設について

幼児から高齢者までが健康増進のための複合施設とした室内プールの建設について

答 町民が年間を通して体力や健康の維持・増進を図り、地域コミュニティの核としてできるだけ早い時期に建設を考えている。

建設計画については、市町

村合併の動向や町の総合型地域スポーツクラブの設立なども視野に入れながら計画することが肝要である。建設に当たっては、管理運営方法なども含め、町民や各種関係スポーツ団体などの意見をお聞きして利用しやすく、かつ特色のある施設となる様、十分検討していきたい。

質 1号環状線の早期完成について

懸案の1号環状線の完成に向けての進捗状況と完成の目標時期について

答 現在の事業区間のうち、議員の皆さんなどのご協力で数年来の懸案でありました地権者さんとも用地補償契約が締結でき、残りの方々とも鋭意交渉するよう努めている。完成の目標時期については、相手の方もいらいっしゃるので明言できないが、事業認可期間のできるだけ早期の用地取得を目指し、努めて参りたい。

質 寺井武彦議員

答弁 田上教育長

質 子供達の教育について

学校週5日制に対する町の対応について

答 小・中学校において、生徒・保護者を対象に「週5日制に関するアンケート」を実施したが、考え方や過ごし方は大変多様であった。町としては、基本的な考え方として、

「家庭や友達とのふれあいをもっと深め、大切にすること」「自分の時間の過ごし方については、家族とも相談しながら、自主的にきめること」などを指導していきたい。

留守家庭も多いことから、土曜日の行事として、「子どもつどい」や「子ども科学教室」(そして「子ども茶道教室」など予定しており、8月に小学生を対象とした野外キャンプも計画しているので、これらの機会を多に利用してほしい。

質 子供の教育について

基本的な考え方は

保育所、小学校、中学校一貫性教育について

答 教育の一貫性、継続性の立場から、保育所と学校間の連携が極めて重要なことだと思ふ。小学校と中学校間には、すでに「庄川町学校教育研究会」があり、活発な意見交換の場となっている。

質 保育所と小学校との連携について

極めて重要なものと認識しており、「連絡協議会」を近く設置したいと思つて

質 寺井武彦議員

答弁 藤森町長

質 いわゆる動物でさえ、生きるために頑張っているのだから、万物の霊長である人間はもっと学習すべきではない

と考えている。

かと思う。生きる権利・義務はあるがそれに加えて学習をしなければ、とても食べてはいけない。最近の子供達に、命の大切さとか、なぜ勉強をしなければならぬかとかたくさん意見はあるが、原点に戻って動物に習うことも大変大事ではないかと考えている。

質問 松田吉孝議員
答弁 藤森町長

質 緑ゆたかな景観づくりについて

住宅、事業所等の所有者が生垣等の新設を行う場合の経費助成について

質 散居村地帯のみならず市街地においても、「豊かな緑に囲まれた美しいまち」は町全域に必要である。

先進地の砺波市においても効果を発揮されていると聞いており、町としても、平成14年度に町にふさわしい内容を検討し、平成15年度から実施できるように努めたい。

質 職員の意識改革について
現経済社会環境の認識と基本的な教育について

質 厳しい状況にあればなおのこと、公務員としての原点に立ち返り、毅然とした態度と適切な対応で町民の立場にたった行政執行に徹することが肝要である。

そうした観点からも職員教育には積極的に取り組んでおり、

富山県や富山県市町村職員研修協議会実施の研修会へ計画的に職員を派遣している。また、自治大学、市町村アカデミーの研修により専門的研修の機会も与え、職員の資質向上を図り、行政サービスの一層の進展を期している。

質問 松田吉孝議員
答弁 田上教育長

質 若者の館の活用について
若者の男女が出会える場としてさらなる活用について

質 平成9年4月オープン以来5年の歳月が流れ、月平均290人の歳月が流れ、月平均の事業の運営については若者を主体としたスタッフで、独身男女の出会いを主体としたパーティーも実施してきた。しかし、回を重ねることに参加者が少なくなり、スタッフも苦慮している。14年度以降も引き続きスタッフと協議を重ね、過去の経緯を十分踏まえ事業展開を図っていきたくと考えている。

この施設の運用方針と中長期展望の中で砺波地域の若者の拠点作りとしての活用について

質 広域圏でも出会い系のパーティーを開催しており、規模も大きく民間の施設を借りて開催されている。双方の事業がより効果的に展開できるように、主催者側の情報交換を

図ると共に独身男女への情報の提供に努めたい。
砺波地域の拠点作りとしての活用については、施設のスペースの問題、広域圏としてのエリアの位置付けの問題等想定されるが、今後の動向を十分見極めながら検討したい。

質問 野村政春議員
答弁 藤森町長

質 市町村合併について
篠山市の合併と砺波地区の合併について

質 町独自施策に対する町職員や議会の研究会を設置してはどうかとのこと提案であるが、今後も弾力的に関係市町村の動向を踏まえながら、町が独自に取組んでいる制度や事業について、予算編成時などさまざまな機会を捕らえて町職員に将来に渡り継続すべきかどうかということを検討させている。今後とも住民ニーズを的確に把握しながら、十分検討して対処していきたい。

合併研究会の最終報告について

質 報告書では12市町村が合併するという前提で類似団体との比較をしている。町職員の身分は保障されることになっているが、類似団体との比較では市町村職員の数は非常に多い状況である。

この大きな地方自治制度の転換期にあたり、町職員が自

己改革を目指して鋭意努力するよう、今後とも職員の意識改革に向けてさらに指導していきたい。

質 平成14年度予算について
各種団体に対する負担金補助金、委託料を再点検した結果、具体的にはどうしたか

「事業を開始して10年以上経過した事業の見直し結果について」は、再度事業実施のあり方を見直すよう指示した結果として、平成9年度をピークに5年間で10億円の予算を減額したことにより、事業の見直しは限界にきており、事業費の減額は行なつたものの、廃止に至る事業はなかつた。

今後、事業実施の必要性や町民ニーズを十分把握し、これから町が取り組む事業の選択を厳格に行っていくたい。

「合併に向けて各種制度の比較調査を行い、重点的に整備する必要がある事業について」は、公共施設維持修繕については、緊急を要するものより予算計上し、地区から要望の道路等公共施設修繕に対

処するため、2千万円を計上している。奨励金制度等については、見直しの時期にきていないのではないかと考えており、今後とも検討していきたい。

合併を議論する際には、交付税の減収要因は無視することとはできないが、合併する理由にはさまざまな要因があり、この減収がすぐさま合併の理由であると考えているものではない。今後とも地方交付税制度の改正を見極めながら適性かつ迅速に対処していきたいと考えている。

質問 山田幸夫議員
答弁 加藤収入役

質 公金のペイオフ対策について
ペイオフ実施により公金の安全で効率的運用と、公金運用の基準をどのようにすべきか

質 ペイオフ解禁を控え、地方自治体も自らの公金預金の保管・運用に関して自己責任が前提となることから、資金管理のための体制整備が必要であると考えている。金融機関経営状況の把握のための体制づくり、資金管理並びに資金運用基準の策定がある。

金融情勢などの変化に対応できるように、具体的な項目の検討を行うと共に、県の対応策を参考にしながら、金融機

関や関係する課の意見を聞きつつ、検討しているところである。

質問 石黒久敬議員
答弁 石黒教務課長

質 循環型社会の構築について

地産地消(地域で取れたものを地域で食べる)について
給食食材の安全性と鮮度・栄養について

答 輸入食品の割合については、牛肉の一部と魚介類の一部、大豆製品についてはカナダ産ものと国内産ものと両方を使用している。果物のうちオレンジ・グレープフルーツ等を輸入に頼っているが、使用回数も少なく、皮のついたものについては、塩素消毒をして使用している。

地元産の旬の食材について

答 今後あらゆる面を想定しながら、生産者の方との間での程度まで利用できるのか協議をしていきたいと考えている。

無農薬栽培については、労力のこともあり、少々難しい問題であると思っているが、今後とも安全な食材の調達に気を配っていききたいと考えている。

質問 石黒久敬議員
答弁 田上教育長

地域で支える総合学習と農

業体験教育について

答 「総合学習」のメリットの一つは、日頃の授業では扱えない「生きた教材」と取組めることにある。しかし、年間を通して農業体験を総合学習に取り入れることは、「時間や土地」の制約もあり、現段階ではかなり無理があると思われる。家庭に田や畑のある児童・生徒にとっては良い機会であると思うので、休日での農業については、多めに奨励していきたいと思っている。

質問 石黒久敬議員
答弁 庄下住民課長

「TMI」の定理について

「燃えるゴミ・燃えないゴミの分類」から「燃やしてよいゴミ・燃やしてはいけないゴミの分類」への転換について

答 正しく分別し、再利用への努力、整理整頓を心がけ、少しでもゴミを減らすよう努力することが大変重要であり、今後行政としても、容器包装リサイクル法をうけて、分別収集品目を拡大するとともに、循環型社会の形成に向けた啓発を図っていかねければならないと考えている。

質問 石黒久敬議員
答弁 藤森町長

資源リサイクルシステムについて

町では、電気生ゴミ処理

機やコンポストを購入される家庭に対して補助金を交付しているが、将来的には、学校給食、飲食店等社会全体が生ゴミを堆肥として有効活用できる循環型社会を構築すべきであると考えている。

そのためには広域圏エリアとして取組む必要があり、クリーンセンター管内ゴミ対策協議会に働きかけをしております。今後さらに強く働きかけをしていきたい。

質問 石黒久敬議員
答弁 中島産業建設課長

転作田を利用した「庄川町農園」について

非農家の転作田利用の現状について

答 農家の転作状況は623戸、130・6畝である。農家から非農家への貸し付け状況については、転作野帳や農地の流動化申請で確認できず、農業委員会としては把握しておりません。

転作田の「庄川町農園」としての利用について

答 町では平成9年、10年の2回にわたり「ふれあい農園利用者募集」を実施したが、問い合わせはあったものの、実現できなかった経緯がある。今後希望があれば町として、庄川町ふれあい農園」の企画を進めていきたい。

質 広域観光行政と東海北陸

自動車道について

東海北陸自動車道と五箇山インターの影響について

答 エントランス庄川のバス及び入込客数は低迷している状態で、東海北陸自動車道、五箇山インターの供用開始の影響がでている。観光協会と観光協同組合が連携し、今後とも名古屋方面への出向宣伝、民放放送等で庄川町の魅力を情報発信していきたい。また、集客力を上げるため、小牧船舶と水記念公園が連携するよう今後協議していきたい。

質問 石黒久敬議員
答弁 前野企画調整課長

食による町おこし「庄川あゆまつり」事業の継続について

答 町制施行50周年の節目の記念事業が観光客を誘致し、そして商業の振興、まちの活性化になればとの大きな夢を描きながら実施していきたい。目先に市町村合併と言う大きな課題もあるが、清流庄川の流れは永遠であり、このイベントは持続可能であると思う。

しかし、来年度以降のことについては、私の立場として申し上げることはできないので、ご理解賜りたい。いずれにしても、初めての事業であり、成功に万全を期して参りたいと考えており、ご理解とご協力をお願い致します。

質問 藤永 泉議員
答弁 藤森町長

質 合併後の財源はほんとうに保障されるのか

答 「合併特例法」においては、この法律の期限内に新たな合併市町村が発足した場合に限り、地方交付税を保障するものである。合併前の各市町村がそれぞれ存続しているという仮定のもとに地方交付税を計算して、全額、合併後も5年間は保障し、さらにその後5年間で新たな自治体に見合う交付額に調整するということであり、この法律が規定している期間においては十分、将来的に財源確保は保障されると考えている。

質 医療行政の改善について

答 町においても、医療保険制度全般を通じて、制度間、世代間で給付と負担を公平なものにしていくことがあるべき姿であると認識しており、制度改革の如何を問わず、被保険者の方々の立場にたった事業運営に努めたい。

また、被保険者の方々が安心して健康な生活を送っていただくことが何よりも重要であり、保健事業を充実させるとともに、関係機関と連携をとりながら、医療費の適正化に努めたい。

可決された議案

【条例】

庄川町都市計画審議会条例の制定について
都市計画法の改正により、県が都市計画区域マスタープランを作成するにあたり、町においても都市計画審議会を設置するものです。

庄川町区設置条例の一部改正について
平成13年4月に各地区自治振興会が発足し、5月に庄川町自治振興連絡協議会が発足し、従来の区長連絡協議会を廃止されたため一部改正するものです。

庄川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
教育委員会委員長及び委員、公民館長及び主事の報酬額を見直すものです。

庄川町税条例の一部改正について
保健婦助産婦看護婦法の一部を改正により、保健婦などの資格の名称が改められたことに伴い、当該用語の改正を行うものです。

庄川町国民健康保険税条例の一部改正について
医療費分、介護分について税率の見直しをするものです。

庄川町下水道条例の一部改正について
町下水道排水設備指定工事店規則で定めている義務や権利に関する規定を定めるに伴い改正するものです。

庄川町コミュニティー防災センター設置条例の一部改正について
換地等によりコミュニティー防災センターの地番を変更するものです。

庄川町消防団条例の一部改正について
災害現場における後方支援活動等を主眼とした女性消防分団を新たに結成し、消防組織強化を図ろうとするもので、組織及び定数について見直し、一部改正するものです。

庄川町道の路線認定について
町道第238号線、287号線、298号線を新たに町道認定するものです。

【予算】

平成13年度庄川町一般会計補正予算(第7号)
追加補正額は196,545千円で、補正後の予算総額4,315,634千円で、減債基金積立金30,000千円、公共施設保全基金50,000千円、中山間地域総合整備事業費7,298千円、田園空間整備事業費22,402千円等です。

平成13年度庄川町下水道事業特別会計補正予算(第5号)
追加補正額は328千円で、補正後の予算総額714,731千円となるものです。小矢部川流域下水道建設負担金等です。

平成14年度庄川町一般会計予算
予算総額は、3,339,000千円(対前年比13.5%減)です。

平成14年度庄川町国民健康保険事業特別会計予算
予算総額は、560,300千円(対前年比6.0%増)です。

平成14年度庄川町老人保健事業特別会計予算
予算総額は、790,079千円(対前年比9.1%減)です。

平成14年度庄川町土地取得事業特別会計予算
予算総額は、160,000千円(対前年比41.6%減)です。

平成14年度庄川町下水道事業特別会計予算
予算総額は、500,658千円(対前年比26.9%減)です。

平成14年度庄川町簡易水道事業等特別会計予算
予算総額は、7,286千円(対前年比4.0%増)です。

平成14年度庄川町水道事業会計予算
水道事業収益は、123,746千円を見込み、資本的収支については、資本的支出を264,972千円にするものです。

【報告】

平成13年度庄川町一般会計補正予算(第6号)の専決処分について

追加補正額はインフルエンザ予防接種委託料576千円で、補正後の予算総額4,119,089千円となるものです。

平成13年度庄川町下水道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分について

追加補正額は2,000千円で、補正後の予算総額714,403千円となるものです。青島小矢部線改良工事に伴う下水道工事施工によるものです。

【選挙】

砺波地区老人福祉施設組合議会議員の選挙について

庄川町青島3468番地 藤森 栄次氏 再任

庄川町示野27番地 藤永 皋氏 再任

【人事案件】

庄川町固定資産評価審査委員会委員の選任について

庄川町古上野318番地 藤井 輝一氏 選任

【議員提出議案】

庄川町議会議員の議員定数条例の一部改正について
現在14名の定数を10名に減ずるもので、次の一般選挙より施行されます。



日曜議会を傍聴される町民の皆さん

人事異動

4月1日付

町職員

新 氏 名 旧 「係長」

「課長」

総務課長 新川 張和 財務課長

財務課長 前野 久 企画調整課長

企画調整課長 石黒 勉 (教育委員会)

産業建設課長 (併せた公園管理運営協議会) 大浦 正治 産業建設課長

議会事務局(出向) (議会事務局) 小西 定雄 庄川町社会福祉協議会事務局

教育委員会(出向) (教務課長) 中島 英夫 産業建設課長

庄川町社会福祉協議会(派遺) (事務局局長) 雨池 弘之 総務課長

「主幹」

財務課主幹 山本 春樹 総務課主幹

(住民課主幹) (保育所長) 中村三和子 総務課長代理

「課長代理」

総務課長代理 坂本恵美子 収入役室課長代理

総務課長代理 武田 保 産業建設課係長

企画調整課長代理 有沢 哲郎 産業建設課係長

産業建設課長代理 坂井 正之 砺波広域圏事務組合へ派遺

庄川福祉会へ派遺 吉田 栄三 産業建設課長代理

住民課係長 石黒 孝一 (庄川福祉会出向)

(教育委員会出向) (教務課係長) 野村 勇洋 企画調整課係長

東山見保育所主任 保育士 嶋田 清美 青島保育所保育士

東山見保育所主任 保育士 杉森下千代 東山見保育所保育士

青島保育所主任 保育士 石黒 雅子 種田保育所保育士

雄神保育所主任 保育士 高田 節子 雄神保育所保育士

「主任」

総務課 古沢 孝之 鷗川町へ派遺

財務課 石黒 哲康 総務課

財務課 大浦 信雄 富山県へ派遺

企画調整課 宮崎 恒充 (財務課(鷗川町)より交流職員)

住民課 上野 勉 砺波地方介護保険組合へ派遺

住民課 藤森 俊行 総務課

鷗川町へ派遺 菊地 紀明 (教育委員会)

砺波広域圏事務組合へ派遺 天川 裕文 (教育委員会)

「主事」

総務課 寺林 秀高 産業建設課

産業建設課 但田 和洋 財務課
収入役室 広谷和佳子 住民課
富山県へ派遺 嶋田 優 産業建設課
砺波地方介護保険組合へ派遺 大浦 昭子 住民課

「主事補」

(教育委員会出向) (体育課) 紺田 悠史 産業建設課

「保育士」

青島保育所 森田 静江 雄神保育所

青島保育所 増山由香里 東山見保育所

雄神保育所 吉田真由美 種田保育所

雄神保育所 石黒亜貴子 住民課主事

種田保育所 森松 光世 東山見保育所

種田保育所 有沢美智代 青島保育所

「調理員」

東山見保育所 金本恵美子 種田保育所

東山見保育所 石黒 吉弘 議会事務局局長

水上 律子 (住民課主幹)

後井 昌子 (保育所長)

木色 幸子 保育士

工藤千穂子 調理員
雄川 昌子 調理員
米道 礼子 調理員
南部 春美 調理員

砺波広域圏井波庄川消防署

新 氏 名 旧

転入

署長 坂下 克己 城端署長

利波分遣所長代理 下田 栄樹 砺波署第二課

主任 下保 範翁 砺波署主任

消防士 宮嶋 秀治 砺波

転出

城端署長 瀬川 和夫 豊勢利波分遣所長

福光第二課長 寺西 孝志 第二課長

上立第消防係長 中島 和彦 主任

砺波署主任 花島 栄主 主任

上平 松井 清哲 消防士

教諭 藤井 亜弓 砺・出町小
講師 師 勇崎小百合

東砺・井口小 小西 達朗 教諭

砺・砺波北部小 竹本 幸教 教諭

東砺・利賀小 藤原 真美 教諭

中学校

新 氏 名 旧

転入 頭堀 一雄 東砺・井口中頭

教諭 富田 智世 西砺・吉江中

学校事務 上田真由美 東砺・福野高

講師 西野 貴宏

転出

西砺・福岡中頭 平岡 隆 教諭

西砺・福岡中 高野美樹子 教諭

派入水城端町 岩村 和也 教諭

東砺上平小中業務 小林裕美子 学校事務

小学校

転入

新 氏 名 旧

教諭 上島 弘志 小・蟹谷中

市町村合併について考え ましょう 11



愛称「ガッペくん」

これまでの出前講座で参加されたみなさんの質問をまとめました。

合併すると、今計画されている庄川町民総合計画や児童福祉・少子化対策などが、中途半端で終わったり、庁舎がなくなるなどの悪影響が生じませんか。

新しい町のことは、合併する市町村が集まって検討します。庄川町で言えばいろいろな事業を、できるだけ続けたいと働きかけていきます。継続期間中の事業については継続できるよう努力していきます。

庁舎については、住民票の交付などの窓口業務は継続されます。また庁舎の空スペースについては各種団体や集会場として活用することもできます。

合併して大きな市になると何でも行政主体となりコミュニティの自主的活動ができなくなるのではないか。

そのために、昨年自治振興会が発足されました。コミュニティ活動は「大きい町だから活動できる。小さな町だから活動できない」というものではないと思います。そこに住む人の考え方の問題だと思えます。新しい町となっても、みんなが幸せで楽しく暮らせるよう、コミュニティ活動を支援していくべきであると考えています。

合併には山村部の過疎化に拍車がかかると思うが合併の先進地はどうでしょうか。

よく過疎になった事例として挙げられる村は、合併が原因で過疎状態になったのでしょうか？そうではないと思います。時代の流れと共に交通の便あるいは勤務地や生活スタイルの変化によって、今のよう状態になったのではないのでしょうか。市町村建設計画などが重視される平成の大合併にデメリットはないと考えられています。

合併する各町が好き勝手を言えば、公共事業は片寄ってまちづくりが行われ、むしろ財政が厳しくなり住民サービスが低下しませんか。

現在の各市町村にある総合計画は合併を考えずに、計画されているものです。これからは新しい町の総合計画（建設計画）で、十分検討され本当に必要な施設のみ建設されるものです。もちろん財政計画を考え長期的に安定した財政運営のもとに実施されるべきです。

合併すると、一般的に「サービスは高い方に、負担は低い方に調整される」と聞きましたが、本当にそうできるのですか。

すべての負担が一番低い所に、サービスが一番高い所に合わせると言うことではありません。

原則的にそうするという事です。

先進事例では、何もかも負担は低い方に、サービスは高い方に調整した自治体はありません。数年かけて段階的に調整されています。

例えば水道料金は企業と同じような考えで、赤字にならないような設定が必要だと考えています。一番低いところに設定した結果、赤字が続くから大幅に値上げするのではなく、将来的に長期的に安定した料金設定が望ましいと考えられます。

私たちに、私たちの地域にあった自治体規模があり、それに見合った制度や負担があるはずで、これを合併協議で十分に議論し、将来のまちのあり方や方針を検討しておくべきです。

地域の特性を引き出すことや安心した暮らしを守るために、何が必要で何が不必要なのか、厳しく選択しなければならないでしょう。



みなさんも鳥になって、時には空から庄川町を考えてみませんか

そのとき、時代は①

50年を振り返って

昭和27年6月1日、庄川町が誕生し今年で町制施行50周年を迎えました。そこで各界各層の町民の皆さんに登場していただき、その当時の楽しかったことや苦しかった思い出などをお聞きし、50年の歴史を12回シリーズで振り返ってみたいと思います。

「市町村合併」

島田 亨(青島)

まず第1回目として合併した当時を振り返り、島田 亨さん(庄川町元助役)にお話をうかがいました。

島田さんが青島村役場に勤務された昭和22年は、5村(東山見村、青島村、雄神村、種田村、中野村の一部)で「組合立庄川中学校」が設置された年で、その頃から一部の有識者の間で東山見村と青島村の合併がささやかれていたそうです。組合立庄川中学校の設置がきっかけとなり、次に種田村がこれに参加したそうです。しかし雄神村においては現在の金剛寺、三谷地区が般若中学校に通っていたことや生活圏が安川地区であったことなどから最初は反対だったそうです。しかし、村の将来

を考え分村せずに合併することを希望し、4村での合併が実現しました。

庄川町誕生が決まる各村の議会が開催された5月15日、青島村を除く3村はすんなり議決したそうですが、青島村だけは役場予定地が東山見村役場であることに反対し、夜遅くまで議会が紛糾し、ようやく可決されたそうです。決定事項は合併期日を昭和27年6月1日、新町名は「庄川町」、役場は元東山見村役場に置くこと、各村の議員定数(別表)などが決められました。合併後は各村に出張所が置かれたのですが4年後には廃止され、雄神や種田地区の方々は今のようになかった時代でもあり、たいへん不便

を感じておられたそうです。

近所の方々から「住民票をもたらってきて欲しい」「これを役場にもって行って欲しい」と「役場の職員がお使い役として近所の方々の足となった」とお話しくださいました。また、庄川町の将来を考えた道路整備や保育所、学校などの施設整備に取り組むために固定資産税率を高くしたことが問題となり、住民の皆さんに納得していただくことがたいへんだったそうです。

合併して初めての町長選挙と町議会議員選挙が執行されたのは6月30日で、町長選挙には2名が立候補し選挙の結果、初代庄川町長に前東山見村長の藤崎博明さん(当時45才)が当選されました。また、

当時は小選挙区制で町議会議員選挙が執行され、種田地区が定数どおりで無投票、東山見、青島、雄神地区では選挙となり町全体で22名の町議会議員が選ばれました。投票は今と同じように5箇所で行われていましたが、開票場まで投票箱を運ぶには、今のようにながなく自転車で投票箱を運び、各地区の駐在さんが同伴したという話もしてくださいます。

そして7月5・6日の両日にわたって庄川町誕生の祝賀祭が行われ、金屋本町通りを日の丸を手に、皆で祝いの歌を歌いながら、パレードしたそうです。

旧村別村勢

		東山見村	青島村	雄神村	種田村	合計
S 25	人口(人)	3,465	2,114	1,434	1,293	8,306
	三役含む職員数(人)	14	12	8	12	46
S 27	議員数(旧村 新町)(人)	16 9	16 6	12 4	12 3	56 22
	旧村予算(万円)	1,905	625	397	479	3,406

旧村からの予算3,406万円に合わせ、合併して固定資産増税分546万円を上乗せし、3,952万円で新町の予算がスタートしました。



昭和27年7月 合併祝賀パレード(金屋地内本町通り)

人口

申込・問合せ先 企画調整課 TEL 82 - 1905 FAX 82 - 3521
町ホームページURL <http://www1.tst.ne.jp/shogawa/> 「得々情報」で情報発信中!

増 対策

庄川町宅地分譲地情報

町制施行50周年記念事業宅地取得奨励金制度

1区画につき
200万円の
宅地取得奨励金
を交付します

町制施行50周年を記念し、町の重点施策である人口増対策を積極的に推進するため、町が分譲する宅地について、その購入者に特例の支援措置をするものです。

- ・毎月締めとして1カ月ごとに購入者を決定していく。申込者が重複した場合は抽選により決定する。
- ・奨励金交付後に契約が解除された場合は、全額返還していただきます。
- ・住宅は3年以内に建築すること。

毎月末締切

平成14年4月 ▶ 平成15年3月の期間中
【第1回締切 平成14年4月30日】

町では、地域の活性化と人口の増加を図るため、豊かな自然に恵まれた青島・金屋地内において1区画の広さが89坪～130坪ある、ゆったりとした優良な宅地全17区画を整備しました。公共下水道も完備しています。

区画番号	面積㎡(坪)	単価円/㎡(円/坪)	価格
	296.47㎡(約90坪)	29,645(98,000)	8,788,853円
	305.38㎡(約92坪)	29,645(98,000)	9,052,990円
	303.63㎡(約92坪)	29,645(98,000)	9,001,111円
	294.30㎡(約89坪)	29,645(98,000)	8,724,524円
	355.34㎡(約108坪)	29,645(98,000)	10,534,054円
	371.05㎡(約112坪)	29,645(98,000)	10,999,777円
	357.73㎡(約108坪)	29,645(98,000)	10,604,906円
	399.61㎡(約121坪)	29,645(98,000)	11,846,438円
	372.76㎡(約113坪)	29,645(98,000)	11,050,470円
	394.58㎡(約119坪)	29,645(98,000)	11,697,324円
	326.82㎡(約99坪)	29,645(98,000)	9,688,579円
	297.54㎡(約90坪)	29,645(98,000)	8,820,573円
	347.90㎡(約105坪)	27,225(90,000)	9,471,578円
	311.65㎡(約94坪)	25,713(85,000)	8,013,456円
	340.08㎡(約103坪)	24,200(80,000)	8,229,936円
	429.75㎡(約130坪)	28,000(92,562)	12,033,000円
	327.33㎡(約99坪)	19,965(66,000)	6,535,000円

- ～
- 地 目 宅地
用途地域 第一種住居地域 (一部工業地域)
建ぺい率 60%
容 積 率 200%
上 水 道 庄川町上水道
加入者負担金別途必要 (消費税込52,500円)
生活排水 公共下水道
負担金別途必要 @510円/㎡
最寄りの保育所 青島保育所
小 学 校 庄川小学校
中 学 校 庄川中学校
- (用途地域 無指定
建ぺい率 70%
容 積 率 400%)



定住促進奨励金

町に定住される学卒就業者、Uターン定住者、転入定住者のうち満15才以上60才以下の方

交付額...学 卒 就 業 者 10万円
 Uターン定住者 (単 身) 10万円
 (家 族) 20万円
 転 入 定 住 者 (単 身) 5万円
 (家 族) 10万円
 (奨励金の交付は1人1回限り)

住宅奨励金

町内に新たな土地を求め一般新築住宅を取得された方 (自己住居用に限ります)

交 付 額...固定資産税(土地・家屋)の相当額を交付。
 (1年間20万円を限度とする)

交 付 期 間...新たに固定資産税(土地・家屋)を課税される年から3年間

国際

No.85

ジョンの イギリスあれこれ!

民族衣装について聞いてみました。

Q：それぞれの国に民族衣装がありますが、イギリスではどうですか？

A：イギリスは伝統を重んじる国ですが、民族衣装といえるほどのものはありません。スコットランドには有名なキルトがあります。これは主にスコットランド高地の男性が着用する、まきスカートみたいなものです。キルトには、それぞれタータン・チェック(格子縞)があります。その模様は家族や家柄によって特徴があります。

日本の着物とスコットランドのキルトは、大変伝統的なものですが、日常生活のなかで



はあまり着用されず、儀式や特別な行事で着用されている点で、共通点があるといえるかもしれません。

着物姿を見れば、日本人だと分かる程、着物は日本の文化に密着しており、長い歴史を通して今でも生き続けていることは、大変素晴らしいことだと思います。

交流日記

むかわ

No.71



昨年、桜の季節に庄川町に赴任し1年がたちました。着任当初、緑多き

散居村の美しさに驚きながら、新人に立ち戻ったような緊張感を持って初登庁したのがつい最近の出来事のように思われます。今、我が家のお茶の間では、妻の標準語、私のインチキな富山弁、子どもの保育所仕込みのキトキト庄川弁が入り混じった、何とも不思議な会話が飛び交っています。皆さんのおかげをもちまして家族共々、無事庄川町での2年目の生活を迎えることができました。

昨年のわが鶴川町は、田畑真紀さんのオリンピック出場や鶴川高校の甲子園での活躍など明るく元気の出る出来事が続きました。しかし、過疎地域指定、小学校再編、合併問題など鶴川町が直面する課題は山積みです。合併論議先行の庄川町で、まちづくりの勉強をさせていただけることを感謝しつつ、さらに多くの方々との出会いを楽しみにしています。これからもよろしくをお願いします。

派遣職員 宮崎 恒充(企画調整課)

スポーツ

第7回町民室内ベタンク大会

とき 2月24日(日)

ところ 町民体育センター

参加チーム数 32チーム

1位 中之島21区D 2位 中之島21区A

第15回町男女混合ビーチボール大会

とき 3月3日(日)

ところ 町民体育センター

参加チーム数 12チーム

1位 うりわりビーチA 2位 38区

第20回東西砺波郡民体育大会冬季大会スキー競技会

とき 3月10日(日)

ところ スノーバレー利賀スキー場

ジャイアントスラローム

一般男子B 1位 坂口 通

一般男子C 2位 冨樫 雄二

一般男子D 2位 水本 俊一

第9回全日本スノーボードテクニカル選手権大会

兼第5期デモンストレーター認定会

とき 3月17日(日)

ところ 北海道ルスツリゾート

アルパイン部門 男子3位 倉田英毅

町体育指導委員設立40周年記念式典

3月8日(金)町体育指導委員協議会設立40周年記念式典が行われました。

昭和37年に5名の体育指導委員によって歴史の1頁が開かれ、現在は20名の皆さんが活躍されています。

近年健康への関心が高まり、豊かなスポーツライフを楽しむ方々が増え、体育指導委員の責務も多様化・高度化しています。健康で明るく活力に満ちた生涯スポーツの推進に、今後ともご支援、ご協力をお願いします。

ちよんこ 一言

心に緊張感を持って



町政モニター
島田 よお子

4月は入学、入社のシーズンです。新入学生や新入社員の緊張に満ちた様子を見ると、こちらも知らずに身が引き締まる思いがします。そしていつまでもその緊張感を忘れずにいて欲しいものだと思います。

私は以前ある団体の会計を担当していました。この団体は、町からの補助金を受けて運営しており、単年に予算を使い切ってしまうと翌年度の補助金が減額されると理解し、必要でない物も買い求め予算消化をした記憶があります。

町の財政状況が厳しく、昔のような様々な団体に漫然とした補助金の交付は行われていないと思いますが、まだまだ町民の理解はあの頃の私と同じ状況ではないかと思いません。

補助金はその団体に必要なものかどうか。また、団体運営に適正に使われているか常に厳しく審査し、少しの無駄も省くようお互いに努力することが必要だと思えます。

今年には町制施行50周年の節目の年となり、町では様々な行事が計画されていると聞いています。新たなまちづくりのためにも、過去の風習やしきたりに流されることなく、新入生や新入社員のように常に緊張感を持って、根本を見すえた仕事の仕方が必要ではないでしょうか。

工事等入札結果 (2/21~3/20)

工事期間中は、町民の皆さんにたいへんご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

番号	工事等名	工事箇所	工期	請負金額(円)	落札業者	備考
1	管路番号19-1路線污水管渠布設工事	五ヶ	2月22日から3月25日まで	1,785,000	(株)竹部工業	県道本町高木出線五ヶ地内
2	雄神処理施設機能強化(その1)工事	三谷	3月15日から3月29日まで	177,975,000	神下組・鹿島建設雄神処理施設機能強化(その1)工事共同企業体	
3	町道第12号線改良工事 第13工区	金屋	3月8日から3月29日まで	6,772,500	宮窪建設(株)	庄永閣前上田千之宅前
4	町道第28号線改良工事	青島	3月8日から3月29日まで	2,803,500	水上工業(株)	旧三光合成(株)裏
5	町道第39号線法面改修工事	横住	3月8日から3月29日まで	1,438,500	(株)沖田組	
6	M145-2号污水管渠布設工事	金屋	3月13日から3月29日まで	2,740,500	太田配管(株)	畑直地内
7	道路愛称標識設置工事	一円	3月13日から3月29日まで	1,785,000	高岡市 中部交通標識(株)	
8	金屋配水池築造測量・調査・設計業務委託	金屋	3月15日から6月28日まで	13,125,000	富山市 (株)中央設計技術研究所 富山事務所	

区長紹介 平成14年度、各区をお世話いただく区長さんです。1年間よろしくお願ひします。(敬称略)

1区	川上 市三	9区	京部 昭一	21区	但田 正昭	28区	式部 吉正
2区	千秋 孫一	10区	水村 芳昭	22区	山本 勇治	30区	大藏 外喜雄
3区	中谷 義則	11区	松原 正之	23区	大浦 盛雄	31区	田中 與八
4区	南部 進	12区	上野 昭作	24区	里子 大海	33区	石黒 礒
5区	東 孝春	14区	山田 長平	25区	柴田 博基	34区	堂 垂 幸明
6区	上田 弘	15区	滝本 勝與士	26区	藤永 静雄	35区	伊東 甫
7区	齋藤 久光	19区	東 信敏	27区	寺田 修康	36区	米澤 一雄
8区	齋藤 市郎	20区	齋藤 國良	38区	泉野 外吉		

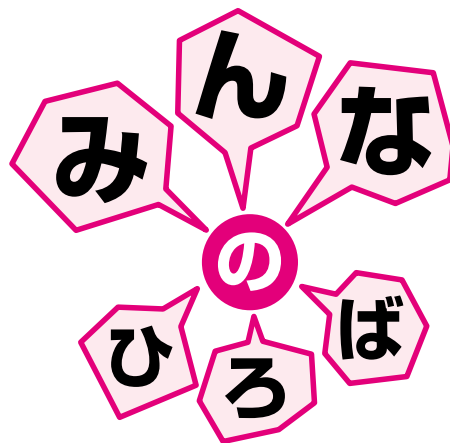
きれいな町をめざして 環境モニター始動



町では、美しい水と緑の自然環境を守るため、昨年4月より環境モニターを2名委嘱し、町内の巡回や投棄物の撤去、環境美化の啓発活動などを行っています。

冬期間は巡回を休止していましたが、雪解けの3月10日(日)より活動を再開しました。初日から多くの箇所でもポイ捨てや犬のフンを発見し、不法投棄のされている箇所の多い現状を再認識する結果となりました。

環境モニターには今後、休日も含め巡回していただき、山菜取りや旅行者の方にも環境美化の啓発を行っていただくことにしています。町民皆さんの協力で美しい庄川町を守りましょう。



皆さんからの身近な情報、地域の活動など、町の情報の提供をお待ちしています。

企画調整課 ☎82-1905

庄川特産「種もみ」について語ろう

3月23日(土)ふれあいセンターにおいて、種もみ生産者など80名により「種もみシンポジウム」が開催されました。

「今後の品種育成の展望と種もみ生産」について県農業試験場作物課長 山本良孝さんが講演されました。また6名の有識者の皆さんによる「種もみ産地としての今後のあり方」についての意見討論会も行われ、新しい品種の種もみや、後継者問題などについて協議されました。

とやまシード・オブ・ザ・イヤー初受賞される

全国一優良な「富山の種もみ」を生産、振興するため県内6地区の種場より選抜されたコシヒカリから最優良種子に森網一雄さん(示野)、優良種子に伊東文雄さん(古上野)が選ばれました。

今後、種もみの産地としてさらに優れた良質種子を目指され、後継者育成の指導をお願いします。



中世城館跡や 中世墳墓群を確認

雄神公民館では、地区住民の皆さんと3月17日(日)に雄神山間部埋蔵文化財分布調査を実施しました。昭和58年に試掘調査した壇城跡の東側山間部からは、敵の侵入を防御する大小の空堀や土塁、帯郭、堅堀などの中世城館遺構が確認できました。

また、この日は雄神地区の文化財を調査したり見学したりし、これからも地域を知る機会を設けたいと語っておられました。



河川ダムでは全国初!! 関西電力(株)小牧ダム 国登録有形文化財に登録

小牧ダムは発電用堰堤として昭和5年に完成しました。本格的な重力式コンクリートダムで地震を考慮したダム

として当時は東洋一のダムとして名を馳せました。

この小牧ダムが国土の歴史的景観に寄与してきたことが評価され、所有者の同意を得て今回の登録となったものです。

国登録有形文化財とは
築造50年が経過し、国土の歴史的景観に寄与しているものの造形の規範となっているものの再現することが容易でないもののいずれかに該当するもので、古き良き建造物を活用しながら残してゆく制度です。

平成13年度
町生涯学習フェスティバル
開催される



教育文化表彰受賞者の方々 左前列から細川さん、宮嶋さん、菊池さん、マジックサムチップ代表中谷さん、岩本さん、森田さん

3月3日(日)ふれあいセンターにおいて生涯学習フェスティバルが開催されました。

午前中のワークショップでは、マジック、バルーンアート、越中庄川玉すだれ、ニュースポーツなどの体験コーナーをはじめ、子どもお茶室や子ども科学教室、町連合婦人会によるフリーマーケットなどでにぎわいました。

午後からは、「日本の文化・英国の文化」をテーマに町ALITのジョン・ショートさんの事例発表がありました。

記念講演では、女優の藤田弓子さんが「いつも何かにときめいていよう」と題して講演をされました。

また、町の社会教育や文化の向上のためご尽力された方々に教育文化表彰、併せて「第5回川の情景を詠む」優秀短歌の表彰及び「第4回読書感想文コンクール」優秀作品の表彰が行われました。

受賞者は次のとおりです。

庄川町教育文化表彰 (敬称略)

功労表彰

菊池 武雄(庄)	森田 礼子(三谷)
宮嶋 弓子(青島)	岩本 久子(井波町)
細川 諒輔(五ヶ)	マジックサムチップ(団体)

第4回 読書感想文コンクール (敬称略)

一般の部

最優秀賞(読売新聞社賞)

中井 溥子(五ヶ)

優秀賞 太田 秀治(金屋)

中学生の部

最優秀賞(北陸中日新聞社賞)

吉田 梓(五ヶ)

優秀賞 宮本 泰士(金屋)

江田 有理(金屋)

小学生高学年の部

最優秀賞(富山新聞社賞)

千秋 美奈(青島)

優秀賞 武田 佳織(庄)

坂口 渚(庄)

小学生低学年の部

最優秀賞(北日本新聞社賞)

服部 楓(青島)

優秀賞 山下恵里奈(金屋)

川嶋 宏明(金屋)

(社)庄川町シルバー人材センター設立

「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、高齢者の地域社会への参加と生きがいづくり、高齢者福祉の向上を図るため、昭和61年、庄川町シルバー人材センターが設立されましたが、これまで以上の運営機能の強化を図ることを目的に、去る2月8日付で「社団法人庄川町シルバー人材セン

ター」として認可されました。また新理事長に宅間三郎さん(商工会長)が就任されました。

60歳以上の皆さん、シルバー人材センターに登録し生きがいのある生活を送りませんか？

問合せ (社)庄川町シルバー人材センター

☎ 82 - 5335



小学校



学校は楽しいよ

小学校では、「新1年生が希望を持って入学できるように」といろいろな取り組みをしてきました。まず2月には半日入学を行い1年生と一緒に授業を受けました。

また、3月6日・8日の2日間にわたって、1年生が各保育所を訪問し、学校で学んだことなどを紹介しました。子どもたちは、各自で紙を切り抜いて人形を作り、国語で勉強した「たぬきの糸車」を題材に人形劇を発表しました。また、「こんなことができるようになったよ」と二重跳びやこままわしなどの発表も行いました。

1年生の子どもたちは、昨年までお世話になった先生や保育所の子どもたちとの再会を楽しみにしていましたが、一方ではずいぶん緊張も

していたようです。しかし当日の様子を見ると、伸び伸びと楽しんで発表しているようでした。

その声を紹介します。

Tさん「ほいくしょのみんなに見てもらってときどきしたけど、大きなこえでいえてよかったな。ぼくのほいくしょにいたときをおもいだすな」

Nさん「みんながこまとか見てくれてうれしいとおもいました。つくしぐみの人たちが1年生になってがんばるところを見てみたいです」

Oさん「みんな「すごいな」っていってくれて、うれしかった」

一人ひとりが心をときめかせた訪問でした。

あやとりで川を作ったよ



二重とびもできるようになったよ



集中してだるまおとしに挑戦



ヨーヨー上手くいくかな?



昔の遊び「こま」に挑戦しました



けんぱんハーモニカ上手にふけるようになったよ

クラスのを合わせてがんばった人形劇「たぬきの糸車」





巣立ちの清掃奉仕活動

3月5日(火) 3年生が「巣立ちの清掃奉仕活動」を行うためにランチルームに集まりました。「3年間お世話になった校舎をきれいにすることで、感謝の気持ちを表しましょう」という宮本泰士君のあいさつと、山本 晃君からの活動説明を受け、それぞれ特別教室の床磨きとワックスがけ、また雪囲いの撤去作業へと移りました。

翌日は、ワックスがけのために廊下に出した机や椅子などを教室に入れる活動を行いました。生徒たちは、自らの手で見る見るうちに復元されていく教室の様子を見て、「自分たちの使う学校は自分たちできれいにする」と



3年間お世話になった校舎の窓をみがく生徒たち

いう活動が、非常に大切であることを学んでいるように思えました。

活動中の生徒に感想を聞いてみました。

A 君：ちょっと寒いけど、雪囲いの撤去は楽しいです。家の雪囲いの片付けも手伝おうと思っています。

Bさん：床磨きは、疲れました。いつの間にか、こんなに汚れてしまうことが分かりました。

Cさん：窓磨きは、1枚1枚のガラスが透明になっていくので、やりがいがあります。

D 君：今日はポリッシャ-(床を磨く機械)を使いました。人がやるのを見ていると簡単そうだけど、自分でやってみると結構難しいものと分かりました。次はバキューム(水を吸い取る機械)をやってみたいです。



校舎前の雪つりははずす生徒たち

春をみ一つけた

ポカポカとした暖かな日差しの中、2・3歳児の子どもたちが春を探しに散歩に行きました。フキノトウを見つけて、「これ何?」「何か、においがするよ」と不思議そうに手に取る子どもたち。

もう少し足をのばして歩いていくと、クロッカスや桃の花も見つけ、「あっ、春み一つけた」と得意そうです。黄色やピンク色のかわいい花に、子どもたちの手



はいつのまにか、お花の方へ・・・

道端の小さな花や頬をなでる春風にも、たくさんの春を感じながら心ゆくまでお散歩を楽しみました。

これからも、いろいろなことに会う戸外へ出かけ、全身で季節感を味わい、回りの出来事に興味や関心が持てる、感性豊かな子どもたちに育ってくれるよう願っています。



Book

4/5 ~ 5/5

おすすめの一冊! ■図書館■

「猛スピードで母は」
長嶋 有 著



「私、結婚するかもしれないから」アクセルを踏み込んで前方の軽自動車を抜き去ると、母は結婚を口にした。外国帰りだというその男に慎は気をゆるすが…。芥川賞受賞の表題作と文学界新人賞受賞作「サイドカーに犬」を収録。

新着図書

小説	枝の折れた小さな樹	鈴木 光司
	盲目の女神	井上 淳
	魔痕	森村 誠一
	はぐれ牡丹	山本 一力
	心のこり	藤堂志津子
	この世で一番のメッセージ	オグ・マンディーノ
エッセイ	おかめなふたり	群 ようこ
一般書	原点をみつめて	曾野 綾子
	応援します、あなたの旅立ち	大平 光代
	変化を乗り越える人、つまずく人	ポール・エドワーズ
児童書	ぐりとぐらのおおそうじ	やまわきゆりこ
	けんたくんとはたらくるま	うのおさむ
		ほか多数

この他の新着図書は、町ホームページで紹介しています。

開館時間

火～木曜日	9:30～18:00
金曜日	9:30～20:00
土・日曜日	9:30～16:00
休館日	
月曜日	1日、8日、15日、22日、29日
振替休館	30日

子ども放送局 番組予定

- 4/13 「科学・技術」
(土) ソーラーにかける夢
- 4/27 「手芸」
(土) あやとりや手品など遊びの結びを紹介

時間 10:30～15:30
場所 図書館 児童室

21	
22	
23	中学校3年生修学旅行(～4/26) 広島・関西方面
24	一般相談 13:30～15:30 農村環境改善センター
25	中国語講座 19:30～ 農村環境改善センター
26	法律相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 小学校遠足
27	<div style="border: 2px solid pink; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>フリーマーケット庄川なんでも市の開催について</p> <p>日程 4月28日(日) 午前9時～午後1時</p> <p>場所 水記念公園</p> <p>問合先 庄川なんでも市実行委員会 町商工会内 TEL82-1155 FAX82-5341</p> </div>
28	
29	
30	
5/1	障害者相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 行政相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30～15:30 農村環境改善センター
2	小学校学習参観 13:30～ 小学校
3	庄川木工まつり(～5/5) 9:00～17:00 水記念公園
4	
5	中国語講座 19:30～ 農村環境改善センター

くらしのカレンダー

4/5	中国語講座 19:30~ 農村環境改善センター 健康相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 中学校入学式 10:00~ 中学校体育館
6	春の全国交通安全運動 (~4/15)
7	交通安全町民大会 7:30~ 町民体育センター 庄川町消防団春季訓練 6:00~ 金屋地内
8	小・中学校離任式
9	子育て相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
10	介護相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 雄神山間部埋蔵文化財分布調査報告会 19:30~21:30 雄神集会所
11	住宅改造相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
12	<p style="text-align: center;">献血のお知らせ</p> <p>日程 4月17日(水) 午後1時30分~ 場所 役場正面玄関</p> <p>今回の献血は400mlと200mlです。みなさんのご協力をお願いします。</p> <p>問合せ先 住民課保険衛生係 TEL82 - 1902</p>
13	
14	第27回春季町民野球大会 9:00~ 町民運動場・弁財天野球場 第6回北日本新聞社杯町民ベタンク大会 12:45~ 町民運動場
15	中国語講座 19:30~ 農村環境改善センター 人権相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
16	
17	行政相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
18	女性問題相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
19	
20	

日曜・祭日連絡医院

(診療時間 午前9時~午後5時)

一般診療			
4月14日(日)	富田医院(福光)	☎52-0392	
4月21日(日)	鷹西医院(井波)	☎82-3231	
4月28日(日)	中田三才内科医院(福光)	☎52-3200	
4月29日(月)	野村病院(井波)	☎82-0075	
5月3日(金)	平川医院(庄川)	☎82-3812	
5月4日(土)	福野厚生病院(福野)	☎22-3555	
5月5日(日)	ふくの若葉病院(福野)	☎23-1011	
5月6日(月)	細川産婦人科クリニック(福光)	☎52-2000	
歯科診療			
4月14日(日)	川口歯科医院(城端)	☎62-0105	
4月21日(日)	山本武夫歯科医院(井波)	☎82-5323	
4月28日(日)	林歯科医院(井波)	☎82-3283	
4月29日(月)	山本歯科クリニック(井波)	☎82-5000	
5月3日(金)	村井歯科医院(庄川)	☎82-5366	
5月4日(土)	斎藤歯科クリニック(福野)	☎22-2122	
5月5日(日)	山本歯科医院(福野)	☎22-4455	
5月6日(月)	仲村歯科医院(福野)	☎22-2659	

健診・相談・予防接種のお知らせ

行事名	対象者	日程	受付時間	実施場所
3歳児健診	H10.9~H11.1月生	4月24日(水)	午後12:45~1:15	保健センター
3か月児健診	H14.1.1月生	4月30日(火)	午後1:00~1:30	砺波保健所
離乳食相談会	H13.7~8月生	5月10日(金)	午前10:00	青島児童館
健康相談	希望者	毎週金曜日	午前9:30~12:00	保健センター
ツベルクリ反応検査	中学校1年	4月9日(火)	庄川中学校	
	中学校2年	4月16日(火)		
	小学校1年			庄川小学校
ツ反判定BCG接種	中学校1年	4月11日(木)	庄川中学校	
	中学校2年	4月18日(木)		
	小学校1年			庄川小学校
三種混合予防接種 (初回)	H13.1~10月生	4月23日(火)	午後1:00~2:00	保健センター
	H13.11~12月生	4月26日(金)		

春の全国交通安全運動

4月6日(土)~15日(月)

スローガン

安全はゆるるやさしさ まつゆとり

重点目標

子どもと高齢者の交通事故防止
シートベルトとチャイルドシート着用の徹底
飲酒運転など悪質・危険な運転の追放

庄川木工まつり

日時

5月3日(祝)～5日(日)

午前9時～午後5時

場所 水記念公園

内容

庄川挽物を一堂に集め、ケヤキの名木や形の変わった珍木などを販売する木材市のほか、白木の皿に絵付けを楽しむ体験コーナー・工作教室や日本一の大型口クワの実演も行います。ご家族おそろいでお越しください。

狂犬病予防注射は必ず受けましょう

犬の狂犬病予防注射の接種は飼主に義務付けられています。次の日程で予防注射を実施しますので、必ず受けましょう。

実施日

4月26日(金)

午前9時～午前12時

庄川町役場

午後1時30分～午後2時

雄神体育館

午後2時30分～午後3時

種田コミュニティセンター

当日、予防注射を受けられない方は、かかりつけの獣

医で注射をし、役場まで届

け出してください。

当日、犬のフン処理用袋を

お願ひします。(詳しいこ

とは狂犬病予防注射の案内

ハガキをご覧ください)

問合せ 住民課保険衛生係

☎ 82 1902

〒82 1902

砺波地方介護保険事業計画策定に係る懇話会委員募集

砺波地方介護保険組合(12市町村)では平成15年度から平成19年度の事業計画の策定に係る懇話会委員を募集します。

応募資格

4月1日現在満40才以上で、

3カ月以上町内に住んでお

られる方

募集人員

12市町村全体で3名(応募

多数の場合は抽選)

応募期限 4月30日(火)まで

応募方法 はがきに住所、氏

名、性別、電話番号を記入

し郵送してください。

応募、問合せ

砺波地方介護保険組合

砺波市栄町7 3

☎ 34 8333

緑の募金のお願ひ

森林は 地球を守る 宝物

緑と水のふるさと、心のふ

るさである森林を「自らの

手で守り育てる」ための身近

な取り組みとして、緑の募金

を実施します。

募金期間 4月～5月

1世帯当たり 1本1000円

以上

募金の取りまとめなどは、

各区長さんにお願ひしていま

すので皆さんのご協力をお願

いします。

問合せ 産業建設課

☎ 82 1904

パソコン教室(4・5・6月)受講者募集

【4月】ワード初級(一般)

2時間×4回

対象 初めて文書を作成される方

日時 4月16・17・18・19日

午後6時30分～8時30分

場所 ふれあいセンター

受講料 一講習 4,000円

(4回分)

【5月】エクセル初級(一般)

2時間×4回

対象 初めてパソコンで表

計算をされる方

日時 5月14・15・16・17日

午後6時30分～8時30分

場所 ふれあいセンター

受講料 一講習 4,000円

(4回分)

【6月】ワード初級(高齢者)

2時間×4回

対象 65歳以上の方

日時 6月4・5・6・7日

午後6時30分～8時30分

場所 ふれあいセンター

受講料 一講習 4,000円

(4回分)

申込方法

官製ハガキまたはFAXで

申し込んでください。

電話での受け付けは行い

ません。

住所

庄川町青島3607

教育委員会教務課パソコン

講習 宛

☎ 82 6431

記載項目

氏名 住所 電話番号

号 受講希望月

問合せ 教育委員会教務課

☎ 82 5007

「第5回川の情景を詠む短歌」作品詠草集を頒布します

全国各地から「川の情景」を詠題に応募のあった作品をまとめた詠草集ができました。希望される方には1冊1,000円で頒布します。

問合せ 教務課文化振興係
☎ 82 5007

車椅子の無料貸し出しを行っています

このたび、社団法人砺波法人会より町社会福祉協議会へ車椅子2台を寄贈いただきました。

介護や通院、旅行などに車椅子が必要な場合は無料で貸し出しを行っていますのでご利用ください。

問合せ 町社会福祉協議会
☎ 82 3520

内閣総理大臣の書状を贈呈します

先の大戦で戦地等に派遣された「旧日本赤十字社救護看護婦」、「旧陸海軍従軍看護

庄川美術館

水の町美術展

庄川町美術協会会員展

4/7(日)~4/21(日)

創造的な活動をしている町美術協会会員の
絵画・彫刻・工芸・書・写真の5部門の研鑽
発表展です。

どうぞお越しください。

公募「庄川町を描く絵画展」に 応募しませんか

町制施行50周年を記念し、庄川町内を描いた
絵画作品を公募し、その入選入賞作品を展示
します。

会期 11月9日(土)~12月15日(日)

応募規定

種目 / 日本画・油彩画(パステル・水彩を含む)
版画など絵画作品

規格 / 一般の部

6号以上、30号以内で額装が必要
小中学生の部
4つ切り画用紙まで。額装必要なし
その他

平成13年以降に制作された未発表
作品

応募方法 電話で申し込みください。必要書
類をお送りします。

搬入日 10月1日(火)~10月3日(木)

問合せ先 庄川美術館 ☎82-3373

松村外次郎彫刻マップ(県内版) を発刊します

庄川美術館友の会では、外次郎ガイドブッ
ク第2弾「松村外次郎彫刻マップ(県内版)」
を発刊します。

富山駅前や県民会館など県内各所に設置さ
れている外次郎の作品場所をわかりやすくま
とめました。希望される方は庄川美術館(☎
82-3373)までお問い合わせください。



婦」の方々(慰労給付金受給
者を除く)に、そのご苦勞を
報いるため内閣総理大臣の書
状を贈呈します。請求の期限
は、平成15年3月31日です。
請求用紙は日本赤十字社庄川
分区(社会福祉協議会内)にあ
ります。

問合せ先 町社会福祉協議会
☎82 3520

自衛隊幹部候補生募集
募集種目
一般・技術・歯科・薬剤幹
部候補生(一般の中に音楽・
飛行要員を含む)

受付期間 4月8日(月)から
5月10日(金)まで

応募資格 20歳以上26歳未満
の者(修士の学位を受けた
者(見込み含む)は、28歳未
満)

歯科、薬剤幹部候補生の受
験資格についてはお問い合わせ
ください。

試験期日 5月25日(土)

試験会場 富山市内

試験種目 筆記試験

問合せ先
自衛隊砺波募集案内所
☎33 3797

**二万石用土地利用改良区
職員募集**
募集人員 男子1名

応募資格
・二万石用土地利用改良区組
合員の子弟
・高等学校卒業以上 満30
才まで

業務内容
一般事務及び水利施設管理
作業

受付期間
4月25日まで履歴書を提出

試験内容
作文、面接(後日連絡)

問合せ先
二万石用土地利用改良区事務所
福野町苗島374 4
☎22 2373

善意の窓

図書購入費として

庄川町青島 村井 幸嗣さん (亡父の供養に 20万円)

広報送付お礼として

大阪府堺市 石黒 功子さん (1万円)

庄川中学校へ

庄川中学校 平成13年度卒業生一同
(ジェットヒーター2台 32万円相当)

庄川中学校PTA(ビデオ用AVケーブル120m 8万円相当)

庄川小学校へ

庄川小学校 平成13年度卒業生一同
(ショーケース1台 13万円相当)

庄川小学校PTA (小型耕運機1台 14万円相当)

各保育所へ

東山見保育所父母の会 (ブロックセット、輪投げ一式)

青島保育所父母の会 (ママごと用キッチンセット、絵本外)

雄神保育所父母の会 (ビデオテレビ)

種田保育所父母の会 (小太鼓セット)

これらのご厚志に対し、深く感謝申し上げ、有効に活用させ
ていただきます。

俳句

庄川俳句会
 總足の温なつかし桃の花 松井 寒灯
 受験子の灯深夜の続く日々 雨池 遙
 菜の花が季を知らせる散居路 谷口 六友
 陶土練る雨水の窓に雪が降る 石山 欣
 フリージア余生の未来ときめくや 畑 郁子
 湯に浸り雪解けの滝望めをり 滝 のり
 涅槃会に團児と拾ふ団子かな 上野 恵子
 難祭りうたへば遠い幼なき日 坂戸 たつ
 刃こぼれを砥ぎおろす水温みあり 斉藤 尤鶴
 行く春をおがみの郷で語りけり 山下 他美
 春の雨ささやくやうに啼くやうに 池田 雅泉

山まゆの会
 手ひの村のからつぼ春の昼 有沢美智子
 山陰に近き家並や春灯 飯田小枝子
 ふき味噌を喰めば逝きたる夫の顔 小川 ふみ
 紅椿五臓六腑を染めつくす 沖田 泰子
 一山のつらつら椿ざわめきぬ 押見南美子
 蘆の芽や山脈白く暮れ残る 滝 昌子
 湯けむりにくもる玻璃戸や春の雪 堂垂 猷子
 鳥帰る空や吾が手を翳しをり 富樫アヤ子
 継ぎはぎの縄文土器や春の雷 森松さち子
 ふりむけば声して落つる椿かな 吉田百合子
 岬山は雲の遊び場梅日和 久保美智子

短歌

アカンサス
野村玉枝選

春いまだ寒き朝の田の窪に張りし 朝倉 捨子
 薄氷陽射しに崩る 朝倉 捨子
 求むれば今高価なるホタルイカ雪の 太田ユキエ
 晴れ間の弥生に頂く 太田ユキエ
 一周忌帰らむ吾娘を偲びつつ孫曾孫 川上 キク
 に逢ひ心なごめり 川上 キク
 シタールに胸は高鳴る独り居の夜寒 木村 和子
 にあれば亡夫よ顯ちませ 木村 和子
 向ひ山時雨るる谷より躰立ちて春芽 齊藤きみ子
 起しの木樹を浸せり 齊藤きみ子
 長浜の盆梅展を見にゆきし半ば朽ち 志部谷良一
 たる古木に咲きてある花 志部谷良一
 登り坂自転車ベタル踏み走り予報通 島田 敏子
 りの雨に打たれる 島田 敏子
 電線に朝置く雪の一瞬に一の雪文字 清水 昭子
 路面に散らばる 清水 昭子

はりはりとタクアン囃む音心急ぐ入 長谷 良作
 齒の修理吾をじらすも 長谷 良作
 わだかまる気持を伏せし咽喉元を過 藤本久美子
 ぐるコーヒーなほほろ苦き 藤本久美子
 梅一輪大空に挿し越の国海山すべて 松原 樹雄
 光の器 松原 樹雄
 川縁に蔭の薑顔ふくらませ東北の友 山崎 則子
 に絵手紙送る 山崎 則子
 不況下の地下より出でし江戸小判偽 山本 知子
 らぬ金新聞に見る 山本 知子
 枯れ草の敷きつむ間よりさみどりの 吉田 数子
 蔭の薑立つ淡き陽射しに 吉田 数子
 黄砂降り山見えぬ日の眼裡にうかび 野村 玉枝
 てゆらく田子の白藤 野村 玉枝

文化芸術

庄川美術館 収蔵作品紹介10

遊歩道

1992年作 樹脂 森田 清一

若い女性の軽快な開襟シャツにショートパンツ姿は現代的で親しみがあります。軽やかな足どりで遊歩道を散策している気持ち良さが伝わってきます。

時代の流行を作品に取り入れるため、道行く若者を観察して、よくショーウィンドーをのぞいていたそうです。

森田清一は昭和6年、庄川町金屋に生まれ、井波彫刻を修め、昭和32年、日展に力強い軍鶏を彫って初入選を果たし、その勇壮な戦いの姿を彫り続けました。昭和42年以降は裸婦に転向し10年後日展で特選を連続して受賞しました。その後、ヨーロッパ旅行で訪れたルーブル美術館の着衣の彫刻やフラメンコの衣装などから鮮烈な印象をうけて、作風を着衣の女性像に変えていきました。

「軍鶏」から「裸婦」へと進み、「着衣」に移って更なる展開を期待されながら病のため平成5年62歳での急逝でした。

美術館では2年後の平成7年、遺作展を開催し氏の生涯を広く紹介しました。



みんなは町の宝物



このコーナーでは、満3歳までの子どもの写真を募集しています。

住所、保護者、子どもの氏名(性別)、保護者から子どもへのメッセージ(20字程度)を書いて、企画調整課へ提出してください。(郵送でも可)自薦、他薦は問いません。

掲載は先着順となります。また、掲載後は、広報と一緒に返却します。

お散歩、大スキです!!



ゆい
山本 悠依ちゃん
(金屋)
父...勉 母...昌美

妹の舞ちゃんと仲良くしてね。



ゆい
新町 唯ちゃん
(庄)
父...賢治 母...直美

お兄ちゃんと仲よくしようね。



みさき
中西 美紗希ちゃん
(青島)
父...稔昌 母...貴乃

健康いきいき食生活



魚介の炊き込みご飯

1人分の栄養価...エネルギー 410Kcal / 塩分量 1.0g

材料 (5人分)

米	3カップ
冷凍シーフードミックス	250g
みりん	大さじ1
醤油	大さじ1
A 砂糖	大さじ1/2
生姜汁	小さじ1/2
酒	大さじ2
塩	小さじ1/3
だし汁	3カップ
生姜	親指大
菜の花	1/2束

作り方

米は洗って、30分間水切りしておく。
生姜を細かく千切りし、水にさらしておく。
菜の花をゆで2cm程に切っておく。
炊飯器に水切りした米を入れ、Aの調味料とだし汁、凍ったままのシーフードを加えて炊く。
炊き上がったら器に盛り、菜の花と生姜を散らす。



コメン

シーフードの生臭みをとるために生姜を入れましょう。

食改雄神支部

ふるさとと庄川百景

この流れ 砺波平野のいのちの水

二万石用水付近



合口ダムから取水した二万石用水は、庄川温泉の後ろから一本橋の下を通って下流へ走る。二万石用水幹線水路といわれる用水で、六ヶ用水や横江宮川用水などに分水しながら、井波、福野地内を流れて、小矢部方面までをも灌漑する。

近年、二万石用水に添って水記念公園へ行くこの道路も拡張され、路肩に植栽された桜並木も大きくなって、こんなにきれいな眺めがあったかと驚くばかりである。

写真撮影 山田 辰夫氏 / 写真解説 杉森富美吉氏

編集後記

今月号の広報表紙に庄川の春が訪れ、満開の桜が私たちの目を楽しませてくれています。

今月号の表紙からは押し花グループの木村三千子さんにお願ひし、庄川の四季折々を、押し花で紹介してさせていただきます。

木村さんが以前、若宮に行った時、草むらでかわいらしいうさぎと出会ったそうです。都会で育った木村さんには、そのうさぎが忘れられず、これからの1年間、うさぎと一緒に庄川町を案内していただきます。どんな庄川と会えるのか1年間とても楽しみです。

住 所 夫婦氏名

茨城県 村住 拓也
青島 (島田) 美紀

福光町 織田 武男
金屋 (野村) 香代子

青島 石黒 淳一
金屋 (吉藤) 亜貴子

福光町 天野 吉昌
金屋 (且見) 里恵

しあわせに

戸籍の窓

すこやかに

住所 出生児氏名 性別 保護者
金屋 川原彩由佳 女 正士
天正 石黒 成也 男 康文
青島 石田 真菜 女 博和
青島 瀬尾 響器 男 珠樹

2/21 2/20 2/18 2/15 日 目

住 所 故人 名 年 齢 月 日 死

住 所 故 人 名 年 齢 月 日 死
金屋 大丸 きみ 91 2/22
金屋 石倉 幸藏 85 2/27
庄 坂口 敦子 70 2/28
庄 藤井 秀直 95 3/10
金屋 神下 まき 90 3/13
古上野 小牧百合子 90 3/19

(2月21日) 3月20日申出のもののみ掲載

やすらかに

町の人口(3月末日現在)

	前月比	前年比	転入	23
人 口	7,268 (10)	(45)	転出	30
男	3,500 (+ 1)	(28)	出生	3
女	3,768 (11)	(17)	死亡	6
世帯数	2,037 (1)	(+ 1)		
高齢人口率	1,788 (+ 3)	(+ 9)		
幼年人口率	24.6% (+ 0.1%)	(+ 0.3%)		
世帯数	956 (+ 3)	(23)		
率	13.2% (+ 0.1%)	(0.2%)		